

GO GO

# ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 次なる取組みは “女性リーダー” 育成支援です。

日本獣医生命科学大学は女性の教授比率を25%以上、  
准教授比率を30%以上とすることをめざしています。  
2022年には、日本医科大学とともに  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ[女性リーダー育成型]」に  
採択され、未来を担う女性研究者の  
キャリア形成支援が始まっています。

## 3つの目標

- ① 女性研究者の上位職への  
飛躍的な登用促進
- ② 女性および若手研究者(40歳未満)の  
研究力の向上・産学連携の推進
- ③ 女性および若手研究者の  
キャリア支援と活躍推進





# ダイバーシティ研究環境実現は 学是「敬讓相和」に通じる大切なテーマです。



はじめに



日本獣医生命科学大学では、文部科学省による「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」に積極的に取り組んでいます。その歩みは、2019年（令和元年）のダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ「牽引型」への採択に始まりました。本学はOne Health（いのちのつながり）の理念のもと女性上位職登用に努め、2022年10月には日本医科大学とともに同イニシアティブ「女性リーダー育成型」にも採択されるという栄誉にあずかっています。ちょうど私自身の学長就任ともかさなり、この事業との縁を強く感じます。

思うに、何かの決断に迷うとき、私は女性教員のアドバイスを求めるようにしてきました。女性は男性とは異なる視点で物事を捉えます。互いの意見交換はそれぞれに思考の拡張をもたらし、よい援けになるものと実感しています。

## 飛躍的な女性登用促進に挑む

女性の教授比率25%以上・准教授比率30%以上へと歩みを進めるなか、新た



な女性リーダー育成型では、女性および若手研究者に対する研究力向上およびシームレス（継続的）な育成のため「挑戦的で野心的な目標設定」が求められています。とはいえ当然ながら誰もが育成対象とはならず、活動への疑問の声も聞こえてきます。難しいとは承知のうえ、できるだけ多くの教職員の理解を得ながら進めていくことが、組織全体のマネジメントには必須であると考えます。いざ実施となれば、多くのことに気づかされるでしょう。そうした課題の一つひとつに丁寧に向き合っていく活動姿勢こそが、今後の飛躍的な登用促進につながるものと確信します。

## 敬讓相和とダイバーシティの社会実装

明治14年創立の本学の学是は「敬讓相和」です。「謙讓と協調、慈愛と人倫を育む科学の創生」を説く四文字ですが、ダイバーシティ研究環境実現のプロセスにこそ生かしたい思想であると考えます。

まずは、誰もがオープンに語れるシステムの構築をめざします。女性ならではのライフイベント



日本獣医生命科学大学  
学長  
**鈴木浩悦**  
(すずき・ひろえつ)

と研究環境の改善点、男性の参加者に偏りがちな会議体のあり方、学内のコミュニケーション不足から生じる諸問題などが明かされるはず。また、研究室ごとに隔絶するのではなく共同ラボのような場や、女性の教員たちがくつろげる場を設けることも決して難しいことではありません。学是「敬讓相和」にならって思い切った多様性を認め、そうした社会実装を率先していく大学であることを打ちだしていくためにも、「ダイバーシティ研究環境実現」事業は、よい実践の場です。

## とことん話し合っ、 多様性の共有を。



ダイバーシティ推進委員会  
委員長  
**植木美希**  
(うえき・みき)

2019年からのダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ「牽引型」では、日本医科大学、(株)アンファーとともに、女性教員を研究代表者とする共同研究や育児等のライフイベントのある女性教員を中心に研究支援員を配置してきました。またオンライン英語講座の実施など、研究力向上のための努力を続けてきまし

た。その甲斐あって、新たにダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ「女性リーダー育成型」に選定されています。

女性教員の上位職への登用は未だ満足いくものではありませんが、新規採用では女性の比率が向上しています。掲げた数値目標の達成は、大学としての社会的責務でもあり感じています。そのため本事業では、「飛躍的な女性上位職登用プロジェクトチーム」を新設し、活躍が期待される女性教員への手厚い支援を実施することにしました。学内で女性教員比率が低い委員会が多いため、このチームにより女性教授の声をしっかりと伝えていきたいと思っています。

研究者をめざす女子学生の育成も重要です。本学では大学院博士課程への進学者

が多くありません。ワークライフバランスの取れた上位職女性教員が増えることで、女子学生のロールモデルとなってほしいと願っています。充実したワークライフバランス達成のためには、どういう問題を解決していかなければならないのかを見据え、率直に話し合うことが必要でしょう。

そのため、学長と女性教員の意見交換会も適宜開催予定です。ぜひとも必要とされている支援に繋げていきたいです。なお、本事業は女性教員だけでなく若手の男性教員の研究力向上もめざしています。本学に所属するすべての教員研究者が持つ力を十分に発揮できるよう、先生が皆様のご協力が必要です。率直なご意見をお寄せください！



## 【日本獣医生命科学大学 ダイバーシティ推進室】

関連図書の貸出し、歓談、小ミーティング等にご利用いただけます。

お問合せ 庶務課ダイバーシティ推進室 [内線番号: 5101]

場所 E棟1階